

宮崎県高齢者保健福祉計画（素案）に対する意見募集結果について

No.	該当頁	意見要旨	県の考え方・計画素案への反映等
1	36	<p>高齢者が働き続ける環境を整備していくことは人手不足を解消していく上で重要な取組であり、高齢者の生きがいづくりにもつながると考える。</p> <p>「高齢者の就業相談窓口の設置」との記載について、既に「みやざきシニア就業支援センター」を設置していることから、新たな相談窓口を設置していくのではなく、現在の就業支援センターの一層の充実や、就業支援センターを知らない高齢者に対する広報に力を入れ、就業の機会の確保につなげていく方が現実的ではないかと考える。</p>	<p>素案における、「就業相談窓口の設置」については、「みやざきシニア就業支援センター」を継続していくという意図であったが、いただいた御意見を踏まえ、以下のとおり修正する。</p> <p>（原案） ○ 高齢者の多様な雇用・就業ニーズに対応するため、就業相談窓口の設置や就職面談会の開催等の取組を推進するとともに、公益社団法人宮崎県シルバー人材センター連合会等の関係機関と連携し、就業機会の確保・提供に努めます。</p> <p>（修正案） ○ 高齢者の多様な雇用・就業ニーズに対応するため、<u>就業相談窓口の運営や就職面談会等についてより一層の充実を図り、周知広報に取り組むとともに</u>、公益社団法人宮崎県シルバー人材センター連合会等の関係機関と連携し、就業機会の確保・提供に努めます。</p>
2	24・29	<p>介護人材の確保のターゲットは若い世代や外国人が多いと思われるが、若い世代からすると休暇が取得しづらく、外国人からすると日本で働くメリットは年々減少傾向にあると思う。そのため、計画素案に記載されているように、シニアパワーを生かした取組を継続すべきであると思う。これからの取組に期待したい。</p>	<p>高齢化が進展する中で、高齢者自身が地域社会を支える一員として、これまで培ってきた知恵や経験、技能、意欲などのシニアパワーを発揮し、活躍することが重要であると認識している。高齢者の多様な社会参加を促進するとともに、素案137ページに記載（以下）のとおり、高齢者の介護分野への参入を促進するための介護施設における就労体験の支援等にも取り組んでいくこととしている。</p> <p>○ 介護未経験者が地域の介護現場に参入するきっかけを作るため、介護に関する基本的知識や技術を学ぶ研修の実施や、元気高齢者を対象とした介護施設における就労体験を支援します。</p>